青空主義

兵庫おでかけ情報

火 Tue イベント
水 Wed グルメ
木 Thu レジャー
金 Fri アート
土 Sat エンタメ

■情報のご提供は
FAX 078-360-5512
E-mail
aozora@kobe-np.co.jp

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。そのプログラムの紹介や、山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第２火曜日に掲載）

根岸真理が案内　山の四季便り

鳥の目線で眺める雪景色

冬の六甲山 ドローンで撮影

来月１日まで、ビジターセンターで写真展

四季折々にいろいろな自然の表情をみせてくれる六甲山。春の新緑、涼しげな夏の緑、錦秋の秋も美しいが、街中ではなかなか目にすることのない雪景色や霧氷が身近で見られる冬は格別だ。今年は暖冬傾向で、山上でも雪は積もっていないが、見事な雪景色が楽しめる企画展が山上で開かれている。

会場は、記念碑台にある兵庫県立六甲山ビジターセンター（神戸市灘区）。2019年2月1日、ドローンによって4K撮影された見事な銀世界が鑑賞できる。

記念碑台周辺、六甲山スノーパーク、六甲ケーブルの沿線、神戸ゴルフ倶楽部などの風景を、大小13枚のパネルで紹介。辺り一面がふんわりとした純白に染め上げられ、幻想的な美しさをみせる。雪をかぶった建物や木々の姿も作品のアクセントになっている。また、撮影内容を約8分間に編集した動画がリピート再生されている。

高度や角度を変えながら撮影しているため、まるで鳥の目線を思わせる、見たこともない光景が新鮮に映る。■

撮影したのは、ビジターセンターで外国人リポーターをしているブライアン・ネイソンさん。コロラド州出身のアメリカ人で、日本に移住して間もなく30年になる。六甲山上の自然環境が気に入って、家族と共に山上暮らしを始めて16年になるそうだ。

今回は、兵庫県神戸県民センター県民交流室から依頼された。「雪景色は撮影条件が難しい。降雪後に天候が回復し、日差しで雪が解けるまでのわずかな時間がチャンス。山上に住んでいるからこそ撮れた映像ですね」と話す。

ドローンは趣味で約2年前から使い始めたとか。当初は自宅の敷地内でいろいろ試し、徐々に操作と撮影のこつをつかんだという。実際に使っている様子を見ると、ドローンに搭載したカメラの映像を手元のモニターで確認しながら巧みに操作。モニターを見ていると、自分が空を飛んでいるかのような気分が味わえた。

会場には木質ペレットを燃料にするペレットストーブが置かれており、暖かい室内で鑑賞できる。

「ドローンが見た六甲山の冬」は3月1日まで。10～15時、月曜休館（祝日の場合は翌火曜閉館）。入場無料。六甲山ビジターセンター☎078・891・0616

■

ビジターセンターの施設内は原則、飲食禁止だが、気象条件が厳しいとき（冬季・悪天時など）限定で、本館セミナールームの一部を休憩室として開放。寒い時期は、湯沸かしポットも用意されているのもありがたい。

企画展「ドローンが見た六甲山の冬」の会場＝六甲山ビジターセンター

美しい雪景色は、2019年２月にドローンで空撮された

ドローンで撮影された４Ｋ映像を動画で常時流している

展示室にはとても暖かいペレットストーブがある

ドローンで撮影したブライアンさん

六甲山ビジターセンター近くの「記念碑台」には、六甲山の開祖グルームの銅像がある

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山シーズンガイド～春・夏」など。

ミクロで迫る 六甲の自然

山小屋

長年、六甲山の花や野鳥など四季折々の自然の表情を撮り続けてきた豊島昇さんによる写真講座が29日、神戸市灘区の六甲山ビジターセンターで開かれる。ミクロの魅力に迫る「接写」の面白さを伝える。

午前10時半～午後0時20分。室内講習の後、野外での実習もある。参加無料。カメラ付き携帯電話かスマートフォンを持参する。

29日に写真講座

住所、氏名、性別、年齢、電話番号を明記し、〒653－0042　神戸市長田区二葉町5の1の32　兵庫県神戸県民センター　六甲山クローズアップ係に郵送する。ファクス（078・642・1018）▽メール（kobe_kem@pref.hyogo.lg.jp）でも申し込める。先着20人。同係☎078・647・9094（平日午前9時～午後5時）。

芸術学部

◆**ミュージック・コミュニケーション**　２月23日13時半、御影公会堂大ホール（阪神「石屋川」駅から徒歩約５分）。ＪＡＪＥの日下雄介さんが「音楽を通した教育、人間形成」について話す。大人から子どもまで五感を感じるプログラムなどを体感する＝**写真はチラシ**。雁瀬由香さん（ピアノ）、中村真美さん（クラリネット）による演奏など。楽器体験あり。500円（未就学児は無料）。先着300人。電話で申し込む。六甲山と市民のネットワーク事務局☎090・3706・3892

環境学部

◆**六甲高山植物園　冬季特別開園**　２月22日～３月15日の土日・祝日10～16時（受付は15時半まで）、六甲高山植物園（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「オルゴールミュージアム前」から徒歩約５分）。バイカオウレン＝**写真**＝やフクジュソウなど早春の花々が楽しめる。入場者には、通常2450円の入園回数券（５回分）を2000円で販売するほか、令和２年度オリジナルカレンダーのプレゼントや豚汁の振る舞い（２月22、23日11時半から各日先着100人）、苗プレゼント（22日10時から先着100人）などの特典も。特別割引入園料600円、４歳～小学生300円。同園☎078・891・1247

◆**探鳥会「春を探して」**　３月８日７時半～11時、９時半～12時半、神戸市立森林植物園内の森林展示館前受け付け（神鉄「北鈴蘭台」駅から７時、９時５分発の無料送迎バス）。日本野鳥の会会員の案内で野鳥を観察する。あれば双眼鏡、図鑑など持参。300円、大学生以下無料（別途入園料300円、小・中学生150円）。同園☎078・591・0253

◆**早春の烏原貯水池の植物を楽しむ**　３月８日９時半、神鉄「鵯越」駅集合。コースは、烏原貯水池を周回し同駅へ戻る＝**写真**。歩きながら、舗装路脇の草花や、シナサワグルミ、アカメヤナギのような水辺を好む木々の冬芽など植物の様子を観察する。弁当、飲み物など持参。小雨決行。参加費300円。六甲山自然案内人の会の松本さん☎090・1595・2397（18～20時）

◆**沖先生のぶらぶら園内ガイド**　３月14日10時半、13時（各回１時間程度）、六甲高山植物園西入口集合（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「オルゴールミュージアム前」から徒歩約５分）。元神戸薬科大学薬用植物園職員の沖和行さんによるガイドで、薬草を中心に観察する。外見だけではわからない植物の秘められた魅力を学ぶ。特別割引入園料600円、４歳～小学生300円。同園☎078・891・1247

総合学部

◆**神戸夜景ツアー**　３月28日までの毎週金・土曜16時45分頃まで、三宮バスターミナル受け付け（ＪＲ「三ノ宮」駅すぐ）。六甲ガーデンテラスで、1000万ドルの夜景と称される、日本トップレベルの夜景を鑑賞する＝**写真はチラシ**。ワンドリンクサービスあり（コーヒーか紅茶）。20時、同駅到着予定。大人2000円、４歳～小学生1000円（３歳以下膝上無料）。１人以上参加で催行。前日15時までに電話かインターネットで申し込む。神姫バスツアーズコールセンター☎0570・0570・11

◆**親子で挑戦！そり競争**　２月29日、３月１日11、15時、六甲山スノーパーク・スノーランドイベントスペース特設会場（六甲ケーブル「六甲山上」駅からバス「六甲山スノーパーク」）。お父さん、お母さんが子どもの乗ったそりを引っ張って競争する。１～３位入賞者には景品あり。参加無料（別途入園料2200円、３歳～小学生1100円）。各回先着18チーム36人。対象は３歳～小学３年生の親子。同パーク☎078・891・0366

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com
わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています
協賛企業
領域をこえ 未来へ OJI
ひとのときを、想う。JT
Daiwa House
想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA
順不同
【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp